

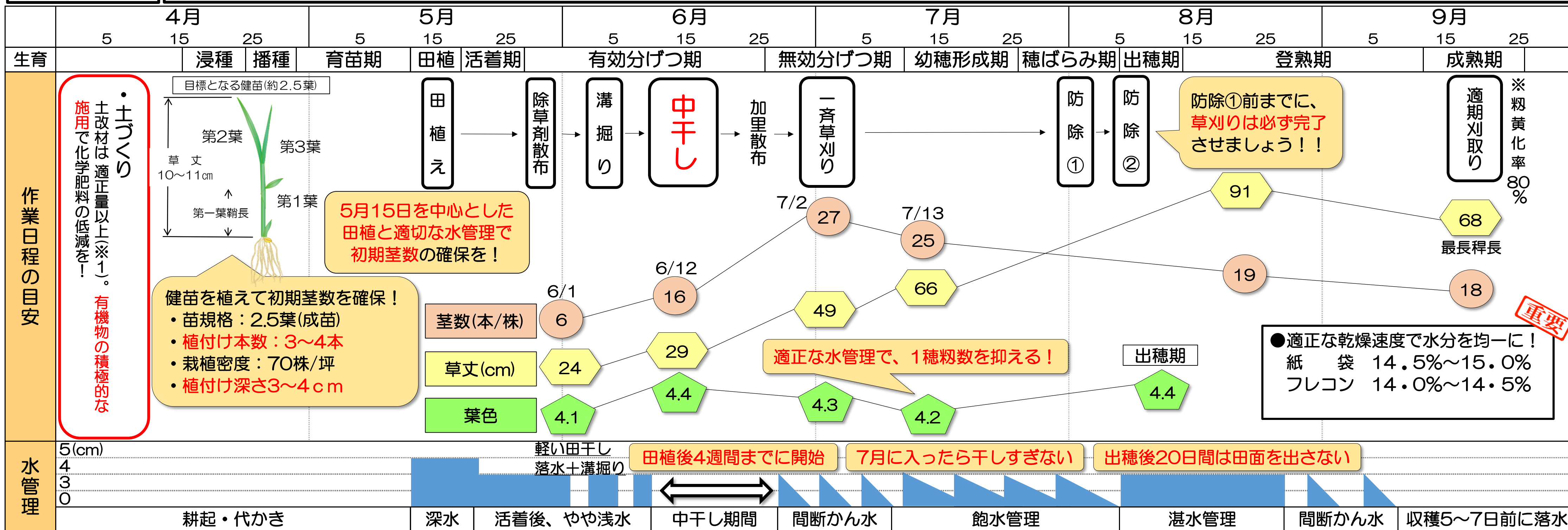
令和8年度

富富富栽培こよみ

みな穂農業協同組合
黒東地域農業技術者協議会

重点対策

- ① 土壌改良資材の継続的な施用 ② 初期茎数の確保 ③ 生育に合わせた水管理 ④ 適期防除



土づくり資材の施用基準 (10aあたり) ※1

土壌改良資材	珪酸石灰 200kg
	シリカパンチF 120kg
	アサヒニューテツ 160kg
有機質資材	グリーンウェイブ2 60kg
	発酵ケイフン 75kg (春施用基準量)
	牛ふん堆肥 1t (春施用基準量)

適正な基肥量の施用

一発肥料(側条施用)の場合

「富富富」専用肥料
32~34kg/10a程度
<コシヒカリの約2割減肥>

苗箱施薬(富富富専用)

●フェルテラ箱粒剤(1成分)
使用量: 50g/箱(密苗: 50~100g)
使用時期: 播種時(覆土前)~田植当日
※側条施用登録なし
適用病害虫: コメメイユウ・イトメイユウ等

●アレスモンガレス箱粒剤(2成分)
使用量: 50g/箱(密苗: 50~100g)
使用時期: 播種時(覆土前)~田植当日
適用病害虫: 紋枯病・コメメイユウ・イトメイユウ等
※紋枯病が見られる圃場での積極的な施用をオススメします。

除草剤の体系

●散布後5日間は湛水状態を保ち7日間は落水しない!
※散布前に軽い田干しを行うと、薬剤の拡散に効果的

田植からの日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
一発処理の場合				プライオリティ1和粒剤(2成分)															
体系処理の場合	かねつぐ1和粒剤(2成分)				プライオリティ1和粒剤(2成分)															
密苗の場合	ピラクロン粒剤(1成分)														アックスMX1和粒剤(3成分)					

●上記の除草体系でも残草がある場合

ノビエ・広葉	トドメバスマF液剤(2成分)	ロイヤント乳剤(1成分)
広葉専用	バイスコープ1キロ粒剤(2成分)	バサグラン粒剤(1成分)
ノビエ専用	トドメMF1キロ粒剤(1成分)	

病虫害防除

基本防除
2回防除で病虫害シャットアウト!

1回目 走り穂 7月下旬
スタークル液剤10(1成分)
+
モンカットフロアブル(1成分)

2回目 穂揃期 8月上旬
ラブサイドK2フロアブル(2成分)

※病虫害雑草防除に使用する化学合成農薬の成分使用回数は、『合計12以内』です(種子消毒剤も成分使用回数に含む)

重要

次年度に向けて

秋耕

- ① 稲ワラの腐熟促進
→ワラ・ヒコバエを腐植へ
→春先のワキ(ガス)の防止
- ② 春耕の効率化
→作土深の確保
- ③ 漏生稲の発生防止
- ④ カメムシ類が発生しづらい環境づくり

土づくり

牛ふん堆肥 1~2t
発酵ケイフン 150kg(秋施用)
(10aあたり)